

県内企業の景況意識調査

(第177回)

- * 2021年 4～6月期〈Ⅱ期〉の実績見込み
- * 2021年 7～9月期〈Ⅲ期〉の見通し

依然として厳しい状況が続く

今期（2021年4～6月期〈Ⅱ期〉）の業況判断BSIは、前期比5.1ポイント上昇の▲31.8となった。業種別のBSIは、『製造業』『卸・小売業』『運輸業』『サービス業』の4業種で改善し、『建設業』『金融・不動産業』の2業種で悪化した。

前期に新型コロナウイルス感染症再拡大により大幅に悪化した製造業、サービス業ではやや改善がみられたが、全体としては依然として厳しい状況が続いている。

来期（2021年7～9月期〈Ⅲ期〉）の業況判断BSIは、今期比4.1ポイント上昇の▲27.7となる見通し。業種別のBSIは、『製造業』『卸・小売業』『金融・不動産業』『サービス業』の4業種で改善し、『運輸業』は今期と同水準、『建設業』で悪化する見通しである。

来期は自動車関連部品の需要の高まりから製造業でやや改善する見通しであるが、新型コロナウイルス感染症の収束の目途が立っていないことから、全体としては厳しい状況が続くとみられる。

*2021年 4～6月期〈Ⅱ期〉の実績見込み

- 製造業……………2期ぶりに改善
- 卸・小売業……………卸売業は悪化、小売業は改善
- 建設業……………前期とほぼ同水準
- サービス業……………2期ぶりに改善

依然として厳しい状況が続く

◎業況判断

【今期】(2021年4～6月期〈Ⅱ期〉)

業況判断BSI：▲31.8 (前期比+ 5.1㊦)

<内訳>

- ・よくなった 10.2% (前期比+ 0.3㊦)
- ・悪くなった 42.0% (前期比▲ 4.8㊦)
- ・変わらない 47.8% (前期比+ 4.5㊦)

<業種別>

- ・前期比改善：4業種 (『製造業』『卸・小売業』『運輸業』『サービス業』)
- ・前期比悪化：2業種 (『建設業』『金融・不動産業』)

前期に新型コロナウイルス感染症の再拡大により大幅に悪化した製造業、サービス業ではやや改善がみられたが、全体としては依然として厳しい状況が続いている。

来期は自動車関連部品の需要の高まりから製造業でやや改善する見通しであるが、新型コロナウイルス感染症の収束の目途が立っていないことから、全体としては厳しい状況が続くとみられる。

【来期】(2021年7～9月期〈Ⅲ期〉)

業況判断BSI：▲27.7 (今期比+ 4.1㊦)

<内訳>

- ・よくなる 10.2% (今期比± 0.0㊦)
- ・悪くなる 37.9% (今期比▲ 4.1㊦)
- ・変わらない 51.9% (今期比+ 4.1㊦)

<業種別>

- ・今期比改善：4業種 (『製造業』『卸・小売業』『金融・不動産業』『サービス業』)
- ・今期比悪化：1業種 (『建設業』)
- ・今期比不変：1業種 (『運輸業』)

◎売上高と収益

【今期】

売上高BSI：▲27.4 (前期比+11.4㊦)

5業種で改善

収益BSI：▲26.0 (前期比+ 9.6㊦)

5業種で改善

【来期】

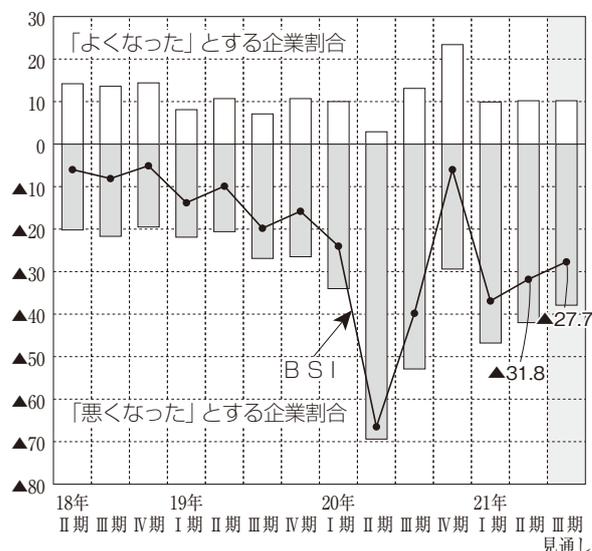
売上高BSI：▲21.1 (今期比+ 6.3㊦)

4業種で改善見通し

収益BSI：▲19.6 (今期比+ 6.4㊦)

4業種で改善見通し

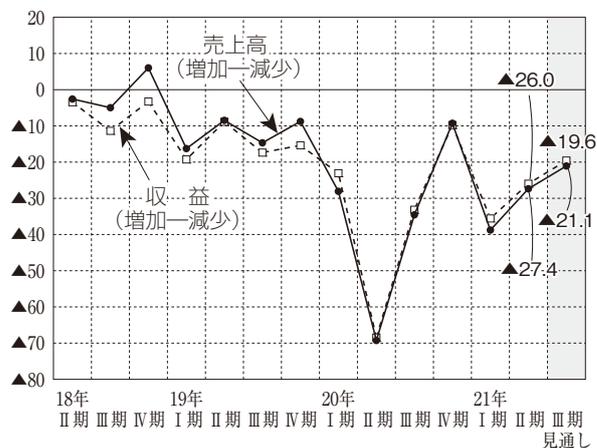
業況判断 (B S I)



業況判断指数内訳 (B S I)

	2020年 Ⅳ期	2021年 Ⅰ期	2021年 Ⅱ期	2021年 Ⅲ期見通し
建設業	▲11.1	▲21.5	▲22.2	▲25.9
製造業	▲7.2	▲30.8	▲20.0	▲8.3
卸・小売業	▲31.1	▲46.5	▲45.6	▲44.9
金融・不動産業	14.3	▲44.4	▲50.0	▲37.5
運輸業	12.5	▲7.7	▲6.7	▲6.7
サービス業	25.7	▲56.2	▲42.1	▲39.5
全産業	▲6.0	▲36.9	▲31.8	▲27.7

売上高と収益 (B S I)



◎所定外労働時間と雇用者数の現状

【今期】

所定外労働時間 B S I : ▲14.8 (前期比 + 3.9ポイント)
 3業種で上昇
 雇用者数の現状 B S I : ▲19.7 (前期比 + 5.3ポイント)
 3業種で上昇

【来期】

所定外労働時間 B S I : ▲ 7.4 (今期比 + 7.4ポイント)

◎経営上の問題点

- 1位: 「売上不振」(47.5%)
- 2位: 「人手不足」(12.0%)
- 3位: 「原材料仕入価格高騰」(10.5%)
- 4位: 「人材不足」(10.0%)
- 5位: 「競争激化」(7.0%)

業種別にみると、「売上不振」と回答した割合は、『サービス業』が59.5%、『卸・小売業』が51.9%と特に高い。「人手不足」は『建設業』で25.9%と最も高くなっている。

「売上不振」の割合は前期比3.3ポイント低下し、2期ぶりに半数を下回った。

◎設備投資実施割合

【今期】

実施企業の割合: 33.5% (前期比▲ 0.3ポイント)
 3業種で低下

<投資目的>

- 1位: 「補修・更新」(58.8%)
- 2位: 「生産能力の拡大・売上増加」(14.7%)
- 3位: 「合理化・省力化」(7.4%)
- 3位: 「新製品生産」(7.4%)

【来期】

実施予定企業の割合: 34.0% (今期比 + 0.5ポイント)
 3業種で上昇見通し

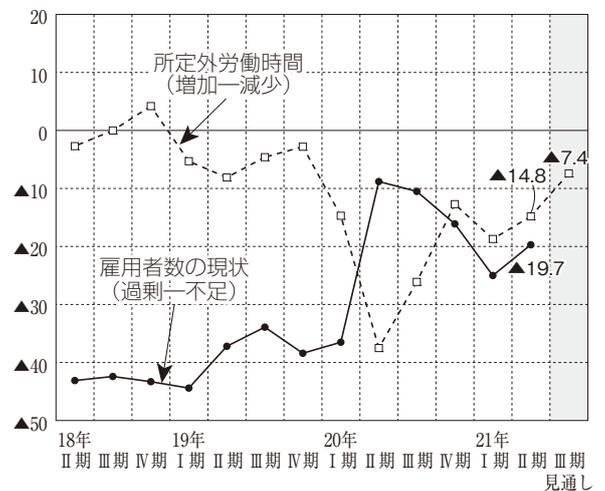
<投資目的>

- 1位: 「補修・更新」(57.4%)
- 2位: 「生産能力の拡大・売上増加」(17.6%)
- 3位: 「合理化・省力化」(11.8%)

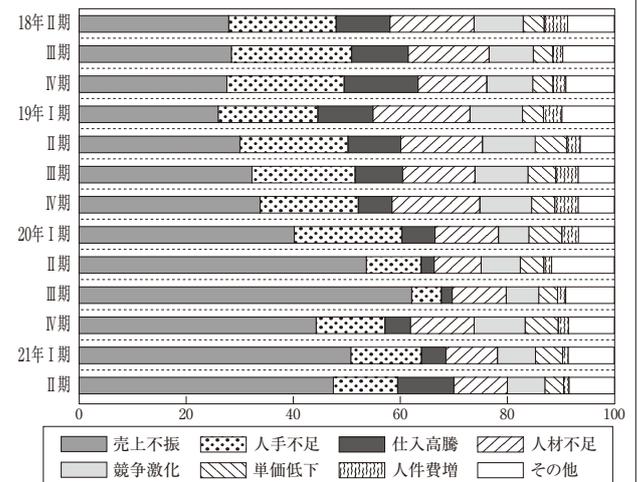
◎「コロナ禍で事業を維持するために行った取り組み」について(複数回答)

今回の調査において、「コロナ禍で事業を維持するために行った取り組み」について尋ねたところ、「テレワーク・リモート会議の実践」が45.6%、「各種支援策の活用」が35.0%、「組織・人員体制の再構築」が24.3%、「Web活用した販売活動の開始・強化」が22.3%となった。(上位項目のみ抜粋)

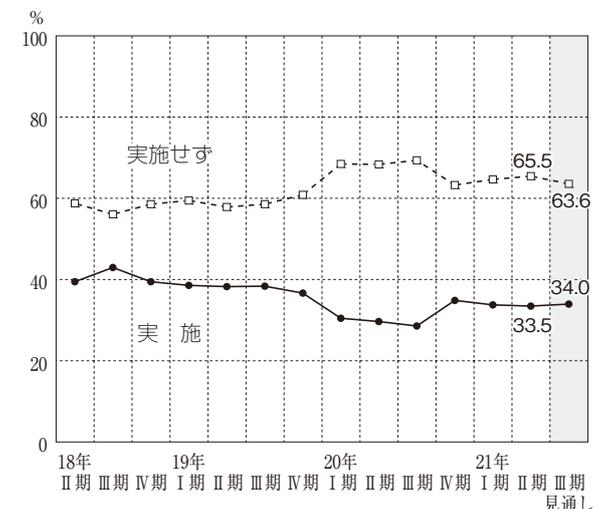
所定外労働時間と雇用者数の現状 (B S I)



経営上の問題点 (%)



設備投資実施割合



2 期ぶりに改善

◎業況判断

【今期】 (2021年4～6月期〈Ⅱ期〉)

業況判断BSI：▲20.0 (前期比+10.8㊦)

＜内訳＞

- ・よくなった 20.0% (前期比+ 6.2㊦)
- ・悪くなった 40.0% (前期比▲ 4.6㊦)
- ・変わらない 40.0% (前期比▲ 1.5㊦)

＜業種別＞

- ・前期比改善：2業種 (「食料品」「木材・家具」)
- ・前期比悪化：5業種 (「鉄・非鉄・金属」「機械」「印刷・出版」「窯業・土石」「その他」)
- ・前期比不変：1業種 (「化学・石油」)

悪化した業種が多かったが、「食料品」、「木材・家具」が大幅に改善したことから、全体としては改善となった。

【来期】 (2021年7～9月期〈Ⅲ期〉)

業況判断BSI：▲ 8.3 (今期比+11.7㊦)

＜内訳＞

- ・よくなる 20.0% (今期比± 0.0㊦)
- ・悪くなる 28.3% (今期比▲11.7㊦)
- ・変わらない 51.7% (今期比+11.7㊦)

＜業種別＞

- ・今期比改善：3業種 (「機械」「木材・家具」「印刷・出版」)
- ・今期比悪化：2業種 (「鉄・非鉄・金属」「食料品」)
- ・今期比不変：3業種 (「化学・石油」「窯業・土石」「その他」)

来期は「変わらない」との回答が過半数を占めているが、自動車部品製造などを含む「機械」で業況判断BSIの大幅な改善が見込まれるため、全体では今期よりも改善する見通しである。

◎売上高と収益

【今期】

売上高BSI：▲11.6 (前期比+22.8㊦)

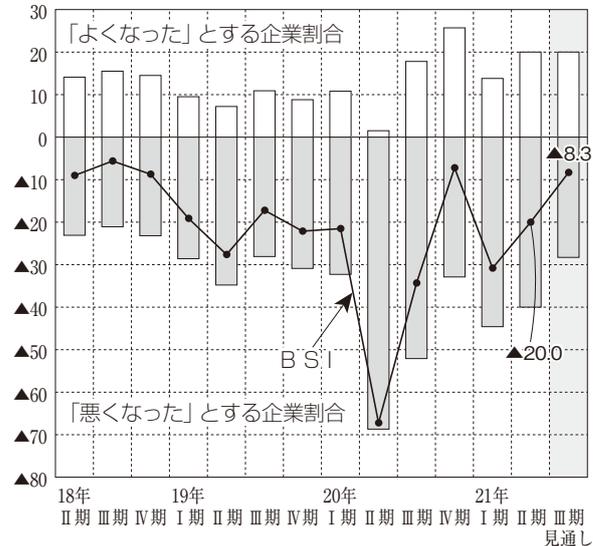
収益BSI：▲18.4 (前期比+12.4㊦)

【来期】

売上高BSI：▲ 8.3 (今期比+ 3.3㊦)

収益BSI：▲ 5.0 (今期比+13.4㊦)

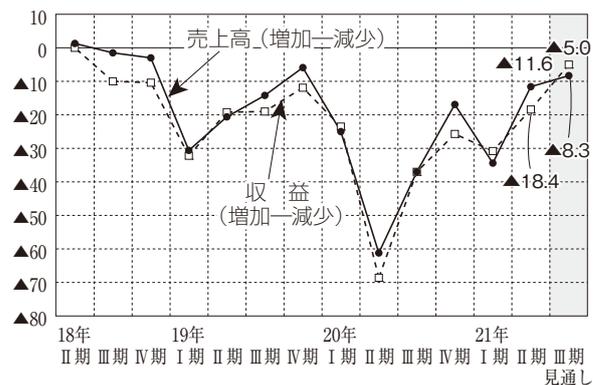
業況判断 (B S I)



業況判断指数内訳 (B S I)

	2020年 Ⅳ期	2021年 Ⅰ期	2021年 Ⅱ期	2021年 Ⅲ期見通し
化学・石油	0.0	0.0	0.0	0.0
鉄・非鉄・金属	30.0	40.0	14.3	▲14.3
機 械	▲19.1	▲ 5.6	▲22.2	22.2
食 料 品	▲10.0	▲84.6	▲27.3	▲36.4
木材・家具	0.0	▲14.3	33.4	50.0
印刷・出版	▲50.0	▲66.7	▲80.0	▲60.0
窯業・土石	25.0	0.0	▲25.0	▲25.0
そ の 他	▲14.3	▲62.5	▲75.0	▲75.0
製 造 業	▲ 7.2	▲30.8	▲20.0	▲ 8.3

売上高と収益 (B S I)



卸売業は悪化、小売業は改善

◎業況判断

【今期】(2021年4～6月期〈Ⅱ期〉)

『卸売業』

業況判断BSI : ▲53.6 (前期比▲7.4㊦)

<内訳>

- ・よくなった 7.1% (前期比▲4.4㊦)
- ・悪くなった 60.7% (前期比+3.0㊦)
- ・変わらない 32.1% (前期比+1.3㊦)

『小売業』

業況判断BSI : ▲38.0 (前期比+8.6㊦)

<内訳>

- ・よくなった 10.3% (前期比+3.6㊦)
- ・悪くなった 48.3% (前期比▲5.0㊦)
- ・変わらない 41.4% (前期比+1.4㊦)

新型コロナウイルス感染症の拡大によって営業活動の制限等の影響を受け、卸売業では業況が悪化している。

【来期】(2021年7～9月期〈Ⅲ期〉)

『卸売業』

業況判断BSI : ▲41.4 (今期比+12.2㊦)

『小売業』

業況判断BSI : ▲48.3 (今期比▲10.3㊦)

卸売業では今期比改善の見通しだが、新型コロナウイルス感染症の収束の目途が立っていないことから、卸売業・小売業ともに低水準となっている。

◎卸売業：売上高と収益

【今期】

売上高BSI : ▲55.2 (前期比▲1.3㊦)

収益BSI : ▲44.8 (前期比+5.2㊦)

【来期】

売上高BSI : ▲34.5 (今期比+20.7㊦)

収益BSI : ▲31.0 (今期比+13.8㊦)

◎小売業：売上高と収益

【今期】

売上高BSI : ▲31.1 (前期比+18.9㊦)

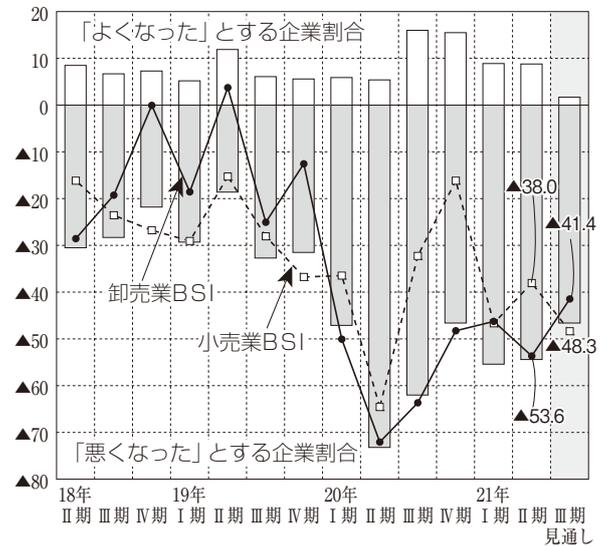
収益BSI : ▲31.0 (前期比+12.3㊦)

【来期】

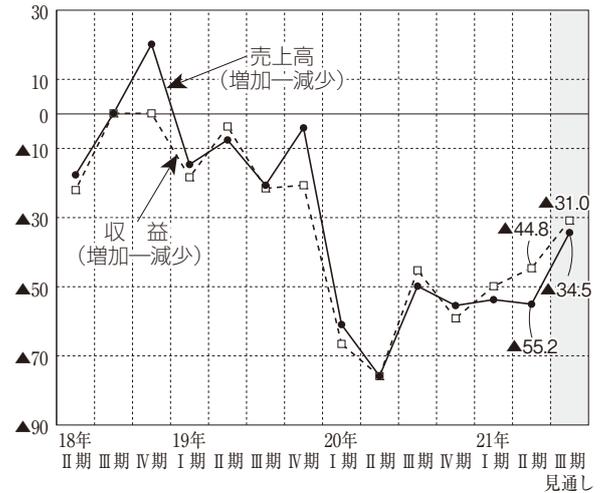
売上高BSI : ▲34.5 (今期比▲3.4㊦)

収益BSI : ▲31.0 (今期比±0.0㊦)

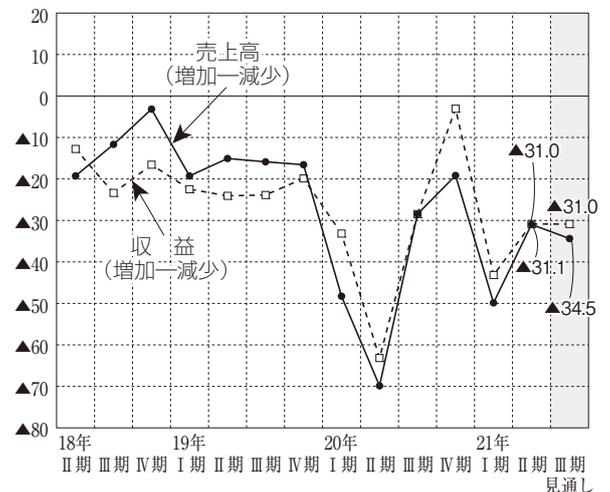
業況判断 (BSI)



【卸売業】売上高と収益 (BSI)



【小売業】売上高と収益 (BSI)



前期とほぼ同水準

◎業況判断

【今期】(2021年4～6月期〈Ⅱ期〉)

業況判断BSI：▲22.2（前期比▲0.7㊦）

＜内訳＞

- ・よくなった 0.0%（前期比▲7.1㊦）
- ・悪くなった 22.2%（前期比▲6.4㊦）
- ・変わらない 77.8%（前期比+13.5㊦）

業況判断BSIは前期比わずかに悪化したものの、ほぼ同水準を維持した。災害復旧関連の公共工事が底堅く、前期と「変わらない」とする回答が大半を占めた。

【来期】(2021年7～9月期〈Ⅲ期〉)

業況判断BSI：▲25.9（今期比▲3.7㊦）

＜内訳＞

- ・よくなる 3.7%（今期比+3.7㊦）
- ・悪くなる 29.6%（今期比+7.4㊦）
- ・変わらない 66.7%（今期比▲11.1㊦）

建設資材の価格高騰から住宅需要の先行きが不安視される状況にあり、設備工事業などでは、来期の業況について「悪くなる」と回答する事業者が増加した。

◎売上高と収益

【今期】

売上高BSI：▲7.7（前期比▲0.3㊦）

収益BSI：▲7.7（前期比▲0.3㊦）

【来期】

売上高BSI：▲15.4（今期比▲7.7㊦）

収益BSI：▲19.2（今期比▲11.5㊦）

◎所定外労働時間と雇用者数の現状

【今期】

所定外労働時間BSI：▲25.9（前期比▲22.3㊦）

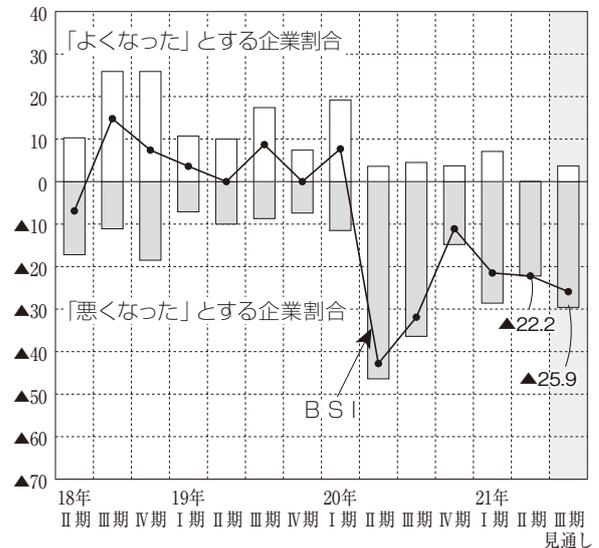
雇用者数の現状BSI：▲51.9（前期比▲1.9㊦）

所定外労働時間が「減少した」と回答する企業が増え、所定外労働時間BSIは前期から低下した。

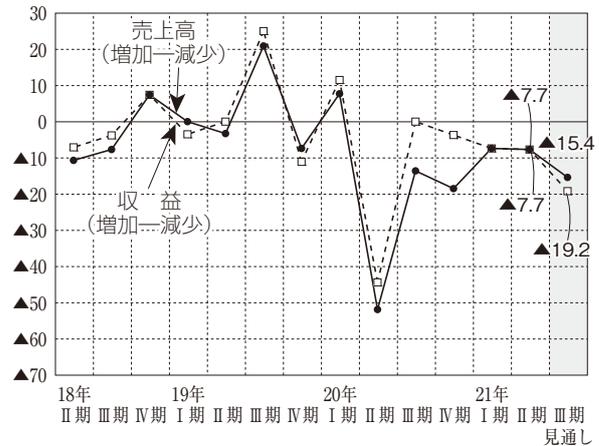
【来期】

所定外労働時間BSI：▲11.1（今期比+14.8㊦）

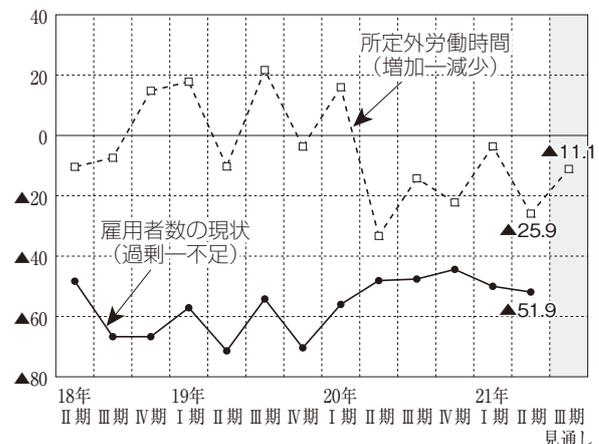
業況判断（BSI）



売上高と収益（BSI）



所定外労働時間と雇用者数の現状（BSI）



2期ぶりに改善

◎業況判断

【今期】(2021年4～6月期〈Ⅱ期〉)

業況判断BSI : ▲42.1 (前期比+14.1ポイント)

<内訳>

- ・よくなった 5.3% (前期比▲1.0ポイント)
- ・悪くなった 47.4% (前期比▲15.1ポイント)
- ・変わらない 47.4% (前期比+16.1ポイント)

サービス業のうち観光関連の18社では、「よくなった」と回答した企業はなく(前期比±0.0ポイント)、「悪くなった」と回答した企業は同21.5ポイント減の66.7%だった。観光関連以外(20社)では、「よくなった」と回答した企業が10.0%、「悪くなった」と回答した企業が30.0%だった。前期と比べ「悪くなった」との回答は減ったものの、観光関連を中心に前期の「悪くなった」から状況に変化がないとの回答が多い。例年、宿泊客発地のおよそ3分の1を占める福岡県で緊急事態宣言が発出されていることから、ホテル・旅館、レジャー施設を中心に依然として厳しい状況が続いている。

【来期】(2021年7～9月期〈Ⅲ期〉)

業況判断BSI : ▲39.5 (今期比+2.6ポイント)

<内訳>

- ・よくなる 7.9% (今期比+2.6ポイント)
- ・悪くなる 47.4% (今期比±0.0ポイント)
- ・変わらない 44.7% (今期比▲2.7ポイント)

◎売上高と収益

【今期】

売上高BSI : ▲44.7 (前期比+11.5ポイント)

収益BSI : ▲42.1 (前期比+17.3ポイント)

【来期】

売上高BSI : ▲29.0 (今期比+15.7ポイント)

収益BSI : ▲31.6 (今期比+10.5ポイント)

◎所定外労働時間と雇用者数の現状

【今期】

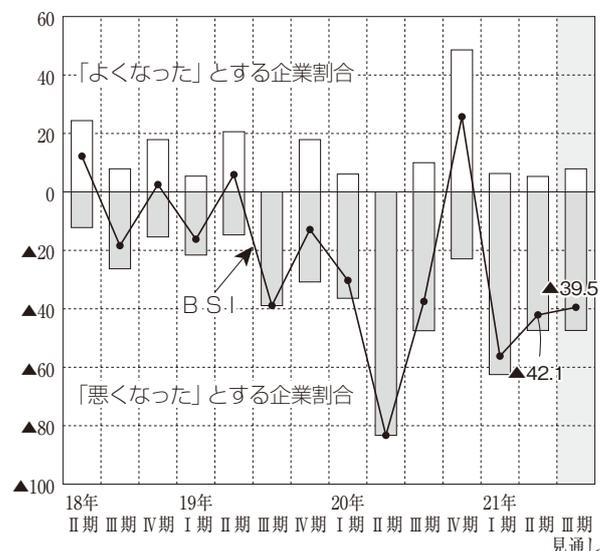
所定外労働時間BSI : ▲13.1 (前期比+30.7ポイント)

雇用者数の現状BSI : ▲5.3 (前期比▲5.3ポイント)

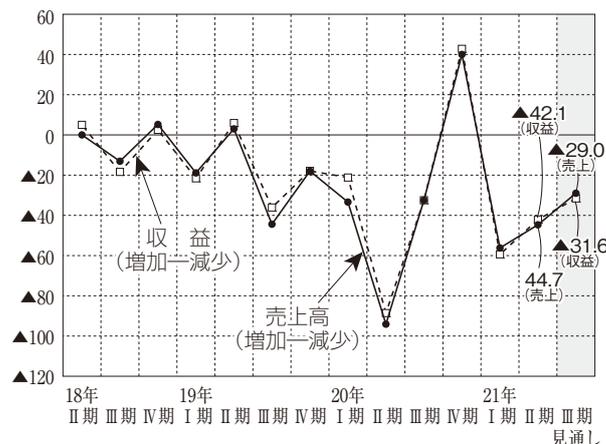
【来期】

所定外労働時間BSI : ▲10.5 (今期比+2.6ポイント)

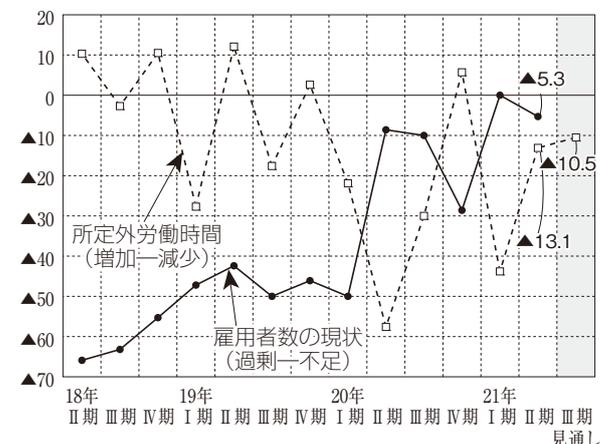
業況判断 (BSI)



売上高と収益 (BSI)



所定外労働時間と雇用者数の現状 (BSI)



BSIとは

BSIとは“Business Survey Index”の略

企業経営者の業況に関する判断や景気見通しを“よくなる・よくなった”、“変わらない”、“悪くなる・悪くなった”という3つの形式で回答を求め、これを数値であらわしたものである。

BSIは次の数式で求められる。

①[よくなる]+[変わらない]+[悪くなる]=100%とする

②[変わらない]の回答分を除く

③ $BSI = [よくなる] - [悪くなる]$

BSIが前期を上回れば景気は改善、前期を下回れば悪化という見方をする。

調査の概要

当調査は、大銀経済経営研究所、大分信用金庫、大分県産業創造機構の三者合同によるアンケート調査である。

◎調査時点 2021年5月20日

◎調査の内容

- ・自社の景況の実績と見通し
- ・売上高と収益の実績と見通し
- ・設備投資実施割合
- ・経営上の問題点など

◎調査対象

- ・県内に本社または出先事業所を有する企業433社

◎回答企業数 206社

・回答率 47.6%

・規模別割合

資本金1千万円未満・個人	9.2%
資本金1千万円～1億円未満	60.6%
資本金1億円以上	15.1%
無回答	15.1%

おおいたの経済と経営 NO.370 7月号付録 2021年6月25日発行（毎月1回25日発行）

発行所 株式会社大銀経済経営研究所 〒870-0035 大分市中央町2丁目9番22号 大分中央町ビルディング7階
TEL (097) 533-8111 編集発行人 衛藤 健 印刷所 佐伯印刷株式会社